

④新規用途開発による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

京の伝統野菜®を活用した業務用「冷凍おぼんざい」の開発・販売

京都で古くから栽培されていた「京の伝統野菜®」を活用し、手づくり感ある業務用「冷凍おぼんざい」の開発と販売に取り組むことで国内外の需要拡大を目指す。

連携体

農林漁業者

農事組合法人アグリ竹藤(法人番号3130005014228)(農事組合法人)

京丹後市でこれまでの栽培技術を活用し、「京の伝統野菜®」の計画栽培と安定供給。

農林漁業者

まる京(農業者)

京丹後市の国営農地で「京の伝統野菜®」の計画栽培と安定供給。

中小企業者

京都食品株式会社(法人番号4130001019436)(食料品製造業)

「京の伝統野菜®」を原料にした業務用「冷凍おぼんざい」の開発・製造・販売。

連携参加者

株式会社田園紳士(法人番号2130001057768)(飲食料品卸売業)

「京の伝統野菜®」の物流及び調達。

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構近畿本部

連携の経緯

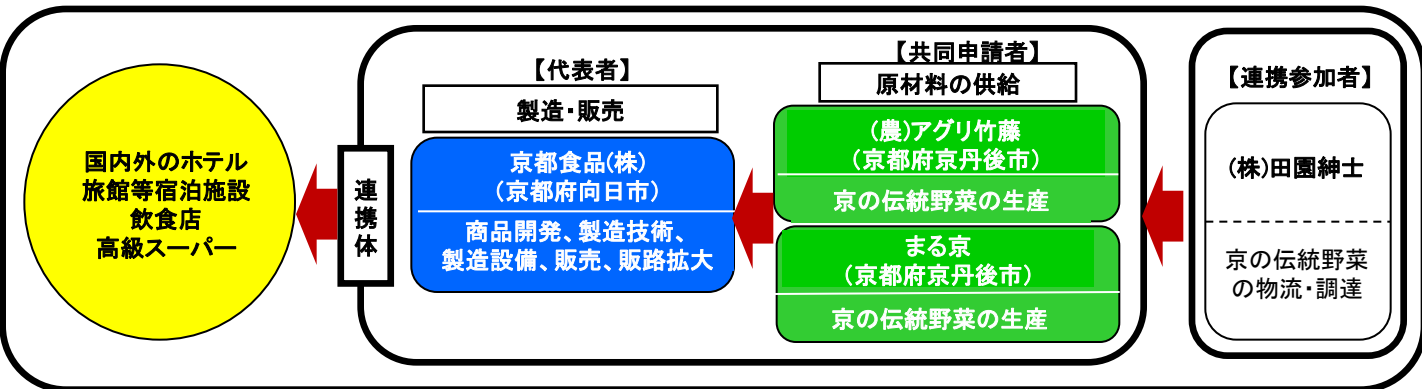
京都食品(株)は主取引先のホテル及び飲食店等から原料産地の情報開示や京野菜使用の要望が出ていた。また既存商品は高温加熱殺菌により品質劣化の課題があるため、製造工程見直しの必要性を感じていた。京野菜の生産農家を探していた時期に、中小機構近畿本部の農商工事業者マッチング会で、京丹後市内で京の伝統野菜を栽培している農業者と出会い、協力を要請して連携に至った。



【商品盛り付けイメージ】

連携に当たっての課題や工夫等

京都の「京の伝統野菜®」を原料にした手作り感ある「おぼんざい」を開発し、さらに急速冷凍加工した業務用「冷凍おぼんざい」は品質保持期間も長く、利便性があり、利用者は解凍するだけで、京都の和惣菜の味が提供可能となる。また、「京の伝統野菜®」原料のブランドを活かして国内外の販路拡大を進める。



連携による効果

農林漁業者

5年で5,026千円(アグリ竹藤4,486千円、まる京540千円)の売上増

京の伝統野菜の栽培・安定供給で売上増加と収益拡大が見込めるとともに、「京の伝統野菜®」の認知度が高まる。

中小企業者

5年で50,447千円の売上増、収益拡大

京都の伝統野菜を原料にした高品質の業務用「冷凍おぼんざい」の開発と国内外の販売により売上拡大を見込める。

代表企業等の連絡先

企業等名：京都食品株式会社
TEL：075-933-0257

所在地：京都府向日市鶏冠井町西金村3-1
FAX：075-933-0138